レッスンガイド

材料試験の開始と監視

機械を実行せずに、コンパクトな材料試験レシピを準備、プレビュー、書き出しします。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

ソフトウェア練習

未接続のままにします。ネイティブの学習者用コピーは**機械なし**で開きます。材料試験プレビューでは、接続せずに自分で設定したプロファイルを選択します。例の速度、パワー、間隔はソフトウェア比較用であり、試験済みの材料レシピではありません。

パワー列	速度行	練習用グリッド
15 / 25 / 35%	1500 / 2100	塗りつぶしサンプル6個

練習用レシピの値です。修正済みのネイティブプレビューには、グリッドの外側にラベルが付いた塗りつぶしサンプル6個が表示されます。

1. **material-test-start.lzrproj**を開き、未接続のままにします。材料試験プレビューでは、自分で設定した機械プロファイルを選択する必要がありますが、接続は必要ありません。

2. **レーザーツール > 材料試験**で、Xをパワー: 3列、10%から30%に設定します。Yを速度: 2行、1200から1800 mm/minに設定します。

3. 塗りつぶし、**1 mmの間隔**、8 x 8 mmのセル、3 mmの間隔を選択します。テキストラベルと枠線はオンのままにし、それぞれの速度とパワーの設定を確認します。

4. **絶対中心を使用**を有効にし、X 100 / Y 100に設定します。セル、ラベル、移動、オーバースキャンをプレビューします。これにより、ラベルを含む生成ジョブ全体が中央に配置されます。

5. 別に保存するには、**カスタム試験レシピ**を選択し、説明的な名前を入力してから、**レシピを保存**と**書き出し**を選択します。名前を変更するだけでは、選択された別のレシピは作成されません。

6. JSONの書き出しファイルはプロジェクトと一緒に保管します。オフライン作業はここで終了です。プロジェクトはコンテキストであり、ジェネレーターはレシピ固有の設定を使用します。

個別練習

個別練習

material-test-practice-recipe.jsonをインポートし、**材料試験練習開始**を選択して「読み込み」をクリックします。以下の練習用目標を設定し、新しいレシピを保存または書き出しして、その設定を**material-test-practice-answer.json**と比較します。

□ Xパワー: 3列、15%から35%。Y速度: 2行、1500から2100 mm/min。

□ 塗りつぶし、6 x 6 mmのセル、4 mmの間隔、1 mmの間隔。ラベルと枠線はオン、絶対中心X 120 / Y 100。

□ 「レシピを保存」の前に「カスタム試験レシピ」を選択します。レシピ名や生成IDではなく、設定を比較します。

3列に対応するパワー値はどれですか。

プロジェクトを開くだけでは試験設定が読み込まれないのはなぜですか。

プレビューで「オーバースキャンを表示」を変更すると何が変わりますか。

比較の意味を保つ
提供されたスターターを保持します。回答を開く前に、自分の結果を別に保存します。

解説付きの回答とファイル

解説付きの回答とファイル

練習用グリッド
列は15%、25%、35%、行は1500と2100 mm/minです。塗りつぶしセル6個が想定されます。

レシピとプロジェクト
JSONにはジェネレーター設定が含まれています。ネイティブプロジェクトはコンテキストを提供するもので、生成されたグリッドではありません。

表示と結果
「オーバースキャンを表示」は、ラスター加減速の移動表示を制御します。塗りつぶしのパスは残ります。色は計画されたツールパスを示すもので、実際に観察された焼けの品質ではありません。

material-test-finished.lzrproj
保存されたデモ用設定であり、物理的な結果が完了したものではありません。

material-test-practice-context.lzrproj
レシピのプロジェクトコンテキストであり、生成された試験グリッドではありません。

material-test-practice.lzrproj
このレッスン用の個別スターターです。

material-test-start.lzrproj
実演された設定に従います。

material-test-demo-recipe.json
固有のジェネレーター設定を持つ編集可能なレシピです。

material-test-practice-answer.json
固有のジェネレーター設定を持つ編集可能なレシピです。

material-test-practice-recipe.json
固有のジェネレーター設定を持つ編集可能なレシピです。

practice-preview.png
比較用の、既存の修正済みネイティブプレビューのスクリーンショットです。

後で物理試験を行う場合は、自分の機械と材料に適した範囲を選択します。材料の在庫、焦点、換気、目の保護具、クリアランスを確認します。終了位置を「移動しない」に設定し、フレームを実行して、スタートの前にアイドル状態になるまで待ちます。レーザーから離れないでください。

修正済みの0.2.38材料試験デモに一致します。プレビューの色は計画されたパスを示すもので、焼けの品質ではありません。